

桜ヶ丘区防火水槽新設工事概要

- | | | |
|---|------|---------------------------------------|
| 1 | 事業名 | 防災基盤整備事業（消防施設） |
| 2 | 事業地区 | 東伯郡三朝町大字吉田 |
| 3 | 事業内容 | 耐震性防火水槽 40m ³ 級 N=1 基 |
| 4 | 工期 | 令和7年12月19日 |

現場説明書

1

令和7年5月15日以降調達公告適用

工 程	①（他工事等との調整） _____については、_____と関連するので相互の連絡調整を密にすること。 ②（部分完成、着工保留） _____については、_____まで_____〔すること、しないこと〕。 ③（施工時間） 本工事の施工時間帯は、昼間施工（8：00～17：00）を見込んでいる。 _____の施工時間は、_____と_____とする。 ④（余裕期間設定工事） 本工事は、鳥取県余裕期間設定工事に係る実施要領（平成28年6月9日付第201600036328号県土整備部長通知）の対象工事であり、工事開始日、前払金の請求、技術者の配置及びその他の取扱いについては、同要領の規定による。 工期については、調達公告のとおりとする。 ⑤（鋼材の調達の遅れによる工期の延長） この工事の工期には、鋼材調達期間として、_____ヶ月を見込んでいるが、受注者の責に帰することができない事由により鋼材の調達が遅れ、工期内に工事を完成することができない場合は、その理由を明示した書面により、発注者に工期の延長変更を請求することができる。 ⑥（週休2日工事） 【治山工事、林道工事、港湾工事、漁港工事以外】 本工事は、鳥取県県土整備部週休2日工事実施要領（平成30年3月12日付第201700297117号県土整備部長通知）の対象工事である。https://www.pref.tottori.lg.jp/277262.htm に掲載された本工事調達公告日時点で最新の同要領の規定に従い週休2日工事を実施すること。
用地関係	①（用地、物件等未処理） 本工事区間の_____には_____があるので、監督員と打合せのうえ施工を行うこと。 なお、_____頃_____の予定である。
支障物件	①（埋設物等の事前調査） 工事に係る地下埋設物等の事前調査については、〔未調査・（水道・下水道・電気・通信・ガス・その他_____）について調査済み〕である。 事前調査済みのうち本工事区域内で埋設が確認されている地下埋設物等は、（水道・下水道・電気・通信・ガス・その他_____）であるため、各管理者の立会を求めて埋設位置等の確認を行うこと。 その他埋設が想定される未調査の埋設物については事前に確認を行うとともに、管理者不明の埋設物等が確認された場合は、監督員に報告すること。 ②（支障物件） _____の施工に当って、_____が支障となっているが、_____までに移設が完了する見込である。 予定どおり処理できなかった場合は別途協議する。 ③（立本の置き場所） 工事用地内の立本は伐採し、_____に置くこと。
公害対策	①（低騒音型・低振動型建設機械） 本工事のうち施工箇所：_____については、特に生活環境を保全する必要がある ので、下記工種の施工に当たっては、低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定（国土交通省告示、平成13年4月9日改正）に基づき指定された建設機械を使用するものとする。 該当工種：_____、施工機械：_____

安全対策	①（交通安全施設等） 一般交通等に支障を及ぼさないよう十分注意して施工すること。なお、交通整理の配置人員及び必要日数として、以下のとおり見込んでいるが、警察等との協議により変更が生じた場合は別途協議すること。 交通誘導員A <u> </u>人 交替要員 <u> </u>人 1日あたり合計 <u> </u>人 配置日数 <u> </u>日 <u> </u>工事全体合計 <u> </u>人・日 交通誘導員B <u> </u>人 交替要員 <u> </u>人 1日あたり合計 <u> </u>人 配置日数 <u> </u>日 <u> </u>工事全体合計 <u> </u>人・日 警備業法に規定する警備員を配置する場合においては、交通誘導員A、交通誘導員Bの定義は以下のとおりとする。 交通誘導員Aとは、警備業法第2条第4項に規定する警備員であり、警備員等の検定等に関する規則第1条第4号に規定する交通誘導警備業務に従事する者で、交通誘導警備業務に係る1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員をいう。 また、交通誘導員Bとは、警備業法第2条第3項に規定する警備業者の警備員で交通誘導員A以外の交通の誘導に従事する者をいう。 なお、自社の従業員で交通整理を行う場合は、警備業法第14条で規定する以外の者とし、安全教育、安全訓練等を十分行うこと。この場合は交通誘導員Bを配置していることとみなす。
濁水処理	①（濁水処理） 工事で発生する濁水に対しては、濁水処理を行うものとし、その工法については、設計図書によるものとする。なお、これにより難しい場合は別途協議すること。 また、舗装の切断作業時に発生する排水の処理についても、舗装の切断作業時に発生する排水の処理について（平成24年3月27日付第201100201443号水・大気環境課長通知）（https://www.pref.tottori.lg.jp/secure/1141896/120327hosouseitudan.pdf）に基づいて適正に処理すること。
建設副産物の処理	【建設発生土（処理）】 ①（他工事等流用） 建設発生土は <u> </u>市・町・村 <u> </u>地内の <u> </u>に運搬（片道運搬距離 <u> </u>km）するものとする。 ②（建設技術センター） 建設発生土は <u> </u>市・町・村 <u> </u>地内のセンター事業所に運搬（片道運搬距離 <u> </u>km）するものとする。なお、処理費として1m³当り <u> </u>円をセンターに支払うこと。 <u> </u>センター事業所へ搬出する土砂の土質は、各事業所が指定している土質性状同等以上とすること。（土質性状（記載例）砂質土、コーン指数300kN/m²以上） ②（民間残土受入地） 建設発生土は <u> </u>鳥取 <u> </u>市・町・村 <u> </u>有富 <u> </u>地内の <u> </u>中央建設㈱ <u> </u>に運搬（片道運搬距離42.0km）するものとする。なお、処理費として1m³当り <u> </u>1,100 <u> </u>円を <u> </u>中央建設㈱ <u> </u>に支払うこと。 民間残土受入地へ搬出する土砂の土質は、各受入地が指定している土質性状同等以上とすること。（土質性状（記載例）砂質土、コーン指数300kN/m²以上） ④（土質改良プラント） 建設発生土は <u> </u>市・町・村 <u> </u>地内の <u> </u>に運搬（片道運搬距離 <u> </u>km）するものとする。なお、処理費として1m³当り <u> </u>円を <u> </u>に支払うこと。 <u> </u>土質改良プラントへ搬出する土砂の土質は、各プラントが指定している土質性状同等以上とすること。（土質性状（記載例）砂質土、コーン指数300kN/m²以上） 建設発生土は現地処分とする。 【コンクリート塊・アスファルト塊・建設発生木材（処理）】 ①（分別解体等） <u> </u>コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材は、現場内において分別解体するものとする。なお、その費用を下記のとおりに見込んでいる。 <u> </u>コンクリート塊 1m³当り <u> </u>円 <u> </u>アスファルト塊 1m³当り <u> </u>円 <u> </u>建設発生木材 1m³当り <u> </u>円 ②（他工事等流用） <u> </u>〔Co雑割材・ <u> </u>〕は、 <u> </u>市・町・村 <u> </u>地内 <u> </u>工事で使用するものとする。

③（バイオマス発電燃料加工施設への搬出）

建設発生木材は_____市・町・村_____地内の_____のバイオマス発電燃料加工施設への搬出（片道運搬距離_____km）を想定し、1 t 当り_____円を見込んでいる。搬出先を変更する場合には、理由を付して協議を行うこと。

なお、公共工事で伐採する支障木は、一般木質バイオマスとして区分される。一般木質バイオマスであることは、立木の所有者（鳥取県）自らにより由来を証明することを基本とするが、伐採・運搬を行う者が由来を証明する場合は、鳥取県森林組合連合会が登録・審査した認定団体でなければならない。当該工事は、〔所有者（鳥取県）・伐採・運搬を行う者〕により由来の証明を行うこととしているため、着手にあたっては事前に監督員に確認すること。

④（木材市場等へ売却）

建設発生木材は_____市・町・村_____地内の_____への搬出（片道運搬距離_____km）を想定し_____円を見込んでいる。これは、他の木材市場等への売却を妨げるものではないが、売却先を変更する場合の理由を付して協議すること。

⑤（再資源化施設へ搬出）

コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材等は、再生資源として、下記の再資源化施設等への搬出を見込んでいる。これは、他の施設へ搬出を妨げるものではないが搬出先を変更する場合は理由を付して協議を行うこと。再資源化施設業者等と書面による委託契約を行うとともに、運搬車両ごとにmanifestoを発行するものとする。

なお、再資源化施設へ搬出が完了したときは、書面により報告すること。

（施設の名称・
受入れ費用）

コンクリート塊 _____市・町・村_____地内の_____
(運搬距離_____km)、費用 1 t 当り_____円

アスファルト塊 _____市・町・村_____地内の_____
(運搬距離_____km)、費用 1 t 当り_____円

建設発生木材 _____市・町・村_____地内の_____
(運搬距離_____km)、費用 1 t 当り_____円

その他 () _____市・町・村_____地内の_____
(運搬距離_____km)、費用 1 t 当り_____円

（受入れ時間帯） 8時～17時（平日）

（受入れ条件） ア 路盤材、土砂、金属片等が混入していないこと。

イ コンクリート塊、アスファルト塊の径は500mm以下であること。

ウ 建設発生木材に関しては、泥等の付着がなく、径_____cm以下、長さ_____m以下であること。

エ 2次公害発生の恐れのある物質（廃油等）を含まないこと。

⑥（最終処理等）

_____については、_____市・町・村_____地内の産業廃棄物処理場への搬出（片道運搬距離_____km）を想定し、その費用として1 t 当り_____円を見込んでいる。

これは、他の施設へ搬出を妨げるものではないが、搬出先を変更する場合は協議を行うこと。

⑦（産業廃棄物の処理に係る税）

産業廃棄物の処理に係る税に相当する額を、_____円見込んでいる。

⑧（伐木工の数量）

伐木工は伐木工歩掛（平成27年8月12日付第201500076595号鳥取県県土整備部技術企画課長通知）に基づき参考数量で算出しているので、実績について見積もり等により監督員に協議を行うこと。

⑨（建設発生木材の出来形数量）

建設発生木材の運搬量、搬出量は出来形数量に応じて設計変更を行う。そのため、次のとおり数量管理を行うこと。

工 種	項 目	規 格	摘 要
建設発生木材 運搬量	現場において運搬車の計測を行うこと。 平均的な1断面を計測。計測に当たっては、頂部に最低2箇所の折れ点を設けること。 断面積に荷台の延長を乗じて体積を算定する。	運搬車全数の測定を行うこと。また、10台に1台の割合で写真管理を行うこと。ただし、搬出台数が10台に満たない場合は、2台以上写真管理を行うこと。 なお、manifestoで運搬量（体積(空m3)）が確認出来る場合は、計測、写真管理は不要とする。	
建設発生木材 搬出量	manifesto又は伝票管理を行うこと。	運搬車全数の管理を行うこと。	伝票は処分業者が発行したものでなければならない。

⑩（manifesto）

産業廃棄物の運搬又は処分を他人に委託するときは、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づきmanifestoを作成すること。ただし、一般廃棄物や有価物は不要である。

建設副産物の使用	① (建設発生土の使用) _____ 工事から〔本工事運搬・相手方運搬〕の建設発生土を受入れ、使用箇所：_____に使用する。 ② (再生資材の使用) ア Co雑割材は、_____ 工事から運搬し、使用箇所：_____に使用する。 イ アスファルト・コンクリート切削殻等は、_____ 工事から運搬し、使用箇所：_____に使用する。 ウ 再生クラッシュラン〔規格：Re=_____〕は、使用箇所：_____に使用する。 エ 再生コンクリート砂〔規格：RS=_____〕は、使用箇所：_____に使用する。 オ 再生加熱アスファルト混合物〔規格：_____〕は、使用箇所：_____に使用する。 カ その他再生資材〔資材名：_____〕〔規格：_____〕は、使用箇所：_____に使用する。 キ 本工事において、再生クラッシュランの使用は上記ウに記載のものを想定している。当該碎石について、受注者が再生資源化施設側と供給状況等について協議し、再資源化施設側から書面により供給の確保ができない旨の回答があった場合には、他の再生碎石を使用することとし、設計変更の対象とする。その上で他の再生碎石の確保も難しいと判断された場合には、新材を使用することとし、設計変更の対象とする。 ク 本工事において、粒度調整碎石の使用は新材を想定している。ただし、受注者が再生材の使用を希望する場合には、受注者において供給状況を確認し、再生材の使用について協議することとし、設計変更の対象とする。
工事用道路	① (農地の一時転用について) 本工事を施工するために必要な仮設道路等を農地に設置する目的で、受注者が農地を借地する場合は、事前に所轄農業委員会と協議を行い、農地法第5条第1項に基づく農地一時転用の許可を得ること。 _____【令和5年4月1日時点で、前工事等の請負業者が一時転用している農地を継続して利用する場合は、以下も記載する。(該当がなければ記載を削除)】 受注者は、前工事等の請負業者が農地一時転用している農地を継続して利用する場合、速やかに変更報告書を作成の上、所轄農業委員会へ提出し、工事完了後はその旨を連絡すること。 ② (農地の賃貸借) ア _____の用途に使用するため、_____市・町・村 _____番地を賃貸借すること。 イ 土地賃貸借契約書に「鳥取県との建設工事請負契約に基づき、土地の貸借権は鳥取県が有することとし、原状復旧の責は鳥取県が負い、受注者がその任に当たるものとする。」を明記すること。 ウ 賃貸人に賃貸借料を支払うこと。 エ 工事完了後、速やかに農地の原状に復旧すること。 オ イにより契約した地番における、農地一時転用許可は不要である。
その他	① (自社施工) 本工事においては、(※) _____ 工 (_____ 工を除く)のうち少なくとも _____ 千円までの部分は、鳥取県県土整備部自社施工対象工事適正実施要領に定めるところにより自社施工しなければならない。 ※該当する細別(レベル4)を記載する。 ② (工事名称) 工事標示板に記載する名称は、 _____ 桜ヶ丘区防火水槽新設工事 _____ とする。 なお、工事標示板には、原則として県産木材を使用すること。また、その他の保安施設等についても積極的に県産木材を使用すること。

③（景観評価）

ア 本工事は、鳥取県公共事業景観形成指針に基づく、景観評価対象事業「~~である~~ではない」。
~~イ 景観評価対象事業の場合、施工にあたっては設計図書によるほか、必要に応じて監督員と協議すること。~~

④（工事成績評定）

本工事は、工事成績評定要領（以下「評定要領」という。）に基づく工事成績評定の対象と「~~する~~しない」。工事成績評定の対象外とするのは以下の「~~ア・イ・ウ・エ・オ~~」に該当するため。
~~ア 請負対象設計金額（請負契約の対象となる部分の設計金額をいい、請負契約締結後に請負対象設計金額を変更した場合にあっては、当初請負対象設計金額とする。以下同じ。）が、500万円未満の一般土木工事及び250万円未満の建築・設備工事~~
~~イ 鳥取県の管理する道路（道路法（昭和27年法律第180号）第2条第1項に規定する道路に限る。）・河川・湖沼・港湾を維持し、修繕し、又は管理（公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法（昭和26年法律第97号）第2条第2項に規定する災害復旧事業として行われるものを除く。）することを目的として発注された工事（年間維持、港湾浚渫、河川掘削、伐開、塵芥処理工事）~~
~~ウ 災害等の初期活動で緊急かつ迅速な対応が不可欠である緊急応急工事~~
~~エ 機器の納品、部品取替等の建設工事（融雪施設点検補修、道路照明灯点検補修、標識灯設置工事等）~~
~~オ 工事目的物を伴わない建設工事（旧橋撤去、残土撤去・運搬工事等）~~

⑤（監督体制）

本工事は監督体制は「~~一般~~重点」監督とする。
 重点監督の工種は_____とし、その他の工種は~~一般監督とする。~~
 なお、鳥取県建設工事低入札価格調査制度対象工事となった場合は、別途通知する。

~~⑥（三者協議）~~

本工事は、~~（対象工事の区分を記載）~~工事であり、工事着工までに、施工条件及び施工の留意点等を確認するため、発注者並びに当該工事の測量等業務受注者及び施工受注者の三者で協議するものとする。（重点監督工事等に適用）

⑦（技能士常駐）

本工事には、下記のとおり鳥取県土木工事共通仕様書特記事項に基づく技能士常駐対象工種が含まれており、該当工種の作業期間は、技能士が工事現場に常駐しなければならない。
~~ア 技能士種別：_____技能士、該当工種：_____工、特記事項根拠：_____頁~~
~~イ 技能士種別：_____技能士、該当工種：_____工、特記事項根拠：_____頁~~
~~ウ 技能士種別：_____技能士、該当工種：_____工、特記事項根拠：_____頁~~

~~⑧（電子納品）~~

情報共有システムを利用する工事は、原則として工事完成図書を電子納品すること。ただし、~~止むを得ない事情がある場合は、監督員と協議の上、紙書類によることができる。~~
~~情報共有システムを利用しない工事であっても、受注者が電子納品を希望する場合は、監督員と協議の上、電子納品対象工事とする。~~
~~電子納品に当たっては、<https://www.pref.tottori.lg.jp/171188.htm>に掲載された本工事調達公告日時点で最新の「鳥取県電子納品・情報共有運用ガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）に従い適正に納品すること。~~
~~オンライン電子納品を実施する場合は、<https://www.pref.tottori.lg.jp/318010.htm>に掲載された本工事調達公告日時点で最新のオンライン電子納品試行要領（令和6年6月12日第202400071599号技術企画課長通知）に従うこと。~~

⑨（情報共有システム）

情報共有システム（以下「システム」という。）を利用すること。
 ただし、情報共有システムの利用を希望しない場合は、監督員と協議の上、紙書類によることができる。
 システム利用に当たっては、ガイドラインに従い適正に実施すること。

⑩（寒中コンクリート）

本工事は、寒中コンクリートとして施工を行わなければならない期間があるので、適正に実施すること。なお、寒中コンクリートの養生費用については、「寒中コンクリートの養生費用について」（平成23年12月7日付第201100123529号県土整備部長通知）に基づいて処理することとし、設計変更の対象とする。

その他の

⑪（建設機械の賃料の採用単価）

~~ア 建設機械の賃料について、ラフテレーンクレーン及び高所作業車以外の建設機械は長期割引単価を標準としている。~~
~~通常単価を採用した建設機械〔無し・有り（ ）〕~~
~~イ ラフテレーンクレーン及び高所作業車について、1ヶ月以上の長期利用に当たるものは長期割引単価を採用し、1ヶ月未満の利用に当たるものは通常単価を採用している。~~
~~本工事の 王で使用を想定しているラフテレーンクレーン（規格 吊）の採用単価は（長期割引単価・通常単価）（建設物価 月号、 頁）を採用し、本工事の 王で使用を想定している高所作業車（規格 ）の採用単価は（長期割引単価・通常単価）（建設物価 月号、 頁）を採用している。~~

⑫（現場環境改善）

【災害復旧工事以外】

本工事は、現場環境改善（率計上分）実施対象工事と〔するしない〕。
 下表の内容のうち原則として各費目（仮設備関係、営繕関係、安全関係及び地域連携）ごとに1実施内容ずつ（いずれか1項目のみ2実施内容）の合計5つの実施内容を実施すること。港湾及び漁港事業は、項目に防災・危機管理関係を含めることができる。
 実施に当たっては、施工計画書に実施内容及び実施時期を記載し、実施後に監督員に写真等を提出すること。
 地域の状況・工事内容により組み合わせ、費目数及び実施内容を変更する場合は、原則として設計変更は行わないが、その内容（目的に資するものであること）について監督員の確認を受けること。
 ①内容も実施困難な場合は、監督員と協議の上、設計変更により率計上は行わない。
 また、主に現場の施設や設備に対する熱中症対策・防寒対策に関する費用については、率分の計上ではなく、契約変更時に対策の妥当性を確認の上、積み上げ計上を行う。施設・設備の種類や規模及び設置期間については、監督員と協議の上、決定する。

計上費目	実施内容
仮設備関係	1. 用水・電力等の供給設備、2. 緑化・花壇 3. ライトアップ施設、4. 見学路及び椅子の設置 5. 昇降設備の充実、6. 環境負荷の低減
営繕関係	1. 現場事務所の快適化（女性用更衣室の設置を含む） 2. 労働者宿舍の快適化 3. デザインボックス（交通誘警備員待機室） 4. 現場休憩所の快適化 5. 健康関連設備及び厚生施設の充実等
安全関係	1. 工事標識・照明・安全具等安全施設のイメージアップ（電光式標識等） 2. 盗難防止対策（警報機等）
地域連携	1. 完成予想図、2. 工法説明図、3. 工事工程表 4. デザイン工事看板（各工事PR看板含む） 5. 見学会等の開催（イベント等の実施含む） 6. 見学所（インフォメーションセンター）の設置及び管理運営 7. パンフレット・工法説明ビデオ 8. 地域対策費等（地域行事等の経費を含む） 9. 社会貢献
防災・危機管理関係 （港湾・漁港事業）	1. 防災訓練（地震・台風等の自然災害に対する訓練）

⑬（熱中症対策）

熱中症対策について <https://www.pref.tottori.lg.jp/291941.htm> に掲載の熱中症予防対策資料を参考に熱中症予防対策を実施すること。
 また、気象庁から高温注意報（最高気温35℃以上が予想される場合）が発表された日においては、作業の中断、作業時間の短縮を行うか、十分な水分、塩分の摂取のほか休憩場所の整備及び十分な休憩時間を確保するなどの熱中症予防対策を確実に実施したうえで作業を行うこと。

~~⑭（現場管理費補正）~~

~~【治山工事、林道工事以外】~~

~~本工事は、熱中症対策に資する現場管理費補正の試行要領(令和元年6月12日付第201900066875号県土整備部長通知)の対象工事である。~~

~~熱中症対策に資する現場管理費補正の適用を希望する場合は、<https://www.pref.tottori.lg.jp/285759.htm>に掲載された本工事調達公告日時点で最新の同要領の規定に従い、工事着手前に提出する施工計画書に、工事期間中における気温の計測方法及び計測結果の報告方法を記載すること。計測結果は施工計画書に基づき、計測結果の資料を工期末の14日前までに提出すること。~~

~~⑮（日本芝生産地への配慮）~~

~~日本芝の生産に配慮した植生工について（令和2年2月27日付第201900299342号県土整備部長通知）（<https://www.pref.tottori.lg.jp/290178.htm>）に基づき、日本芝を生産するほ場と、その前後も含めたほ場に隣接する法面においては、植生工にバミューダグラスの使用を禁止する。~~

~~ア〔張芝工・筋芝工〕は、日本芝の〔野芝・高麗芝〕を使用すること。~~

~~イ〔植生基材吹付工・客土吹付工・種子散布工・枠内吹付工〕に使用する種子に「バミューダグラス」は使用しないこと。配合種子は監督員と協議のうえ決定すること。~~

~~ウ〔わら芝工・植生シート工・植生マット工〕に使用する種子に「バミューダグラス」は使用しないこと。バミューダグラスの代替えの種子として〇〇を使用し、材料費として1㎡当たり〇〇円を見込んでいる。~~

~~⑯（ICT活用工事[受注者希望型(LightICTを含む)]）~~

~~本工事は、受注者希望型(LightICTを含む)の対象工事であるので、最新の「ICT活用工事特記仕様書（受注者希望型）」によること。~~

~~仕様書の改定状況は<https://www.pref.tottori.lg.jp/269460.htm>を参照すること。~~

~~⑰（土石流の発生・到達するおそれのある現場での工事）~~

~~本工事は、労働安全衛生規則第2編第12章「土石流による危険の防止」に定める、土石流が発生する恐れのある現場において行う工事である。~~

~~安全対策について、<https://www.pref.tottori.lg.jp/295476.htm>に掲載の「土石流の発生・到達するおそれのある現場での工事における安全対策について」に基づいて実施すること。~~

~~⑱（標示板の設置）~~

~~本工事は「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に基づく工事であり、標示板の工事種類について「国土強靱化対策工事（5か年加速化対策）」と標記すること。~~

~~標示板の記載及び記載内容については、道路・河川工事現場における標示施設の設置の徹底について（令和3年6月1日付け 国土交通省大臣官房技術調査課建設システム管理企画室長 事務連絡）を参考にする。~~

~~⑲（CCUS活用推奨工事[受注者希望型]）【災害復旧工事、受託工事は対象外（当該項目を削除する）】~~

~~本工事は、受注者希望型の対象工事である。CCUSの活用を希望する場合は、最新の「鳥取県建設キャリアアップシステム活用推奨工事（受注者希望型）特記仕様書」によること。~~

~~仕様書の改定状況は<https://www.pref.tottori.lg.jp/291820.htm>を参照すること。~~

~~⑳（遠隔臨場）~~

~~本工事は、遠隔臨場の対象工事である。遠隔臨場の活用を希望する場合は、<https://www.pref.tottori.lg.jp/307254.htm>に掲載された本工事調達公告日時点で最新の「鳥取県建設工事・測量等業務の遠隔臨場に関する実施要領」によること。~~

~~㉑（施工管理システム）~~

~~本工事は、施工管理システムの利用可能工事(試行)である。施工管理システムの利用を希望する場合は、事前に監督員と協議を行うこと。なお、利用に関するアンケート調査に協力すること。対象とする施工管理システムは以下のホームページに掲載されたものである。~~

~~<https://www.pref.tottori.lg.jp/310672.htm>~~

その他

㊹ (快適トイレの試行)

1. 内容

受注者は、現場に以下の(1)～(11)の仕様を満たす快適トイレを設置することを原則とする。

(12)～(17)については、満たしていればより快適に使用出来ると思われる項目であり、必須ではない。

【快適トイレに求める機能】

- (1) 洋式便器
- (2) 水洗及び簡易水洗機能(し尿処理装置付き含む)
- (3) 臭い逆流防止機能
- (4) 容易に開かない施錠機能
- (5) 照明設備
- (6) 衣類掛け等のフック、又は、荷物の置ける棚等(耐荷重を5kg以上とする)

【付属品として備えるもの】

- (7) 現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示
- (8) 周囲からトイレの入口が直接見えない工夫
- (9) サニタリーボックス(女性用トイレに必ず設置)
- (10) 鏡と手洗器
- (11) 便座除菌クリーナー等の衛生用品

【推奨する仕様、付属品】

- (12) 室内寸法 900×900mm 以上(面積ではない)
- (13) 擬音装置(機能を含む)
- (14) 着替え台
- (15) 臭気対策機能の多重化
- (16) 室内温度の調整が可能な設備
- (17) 小物置き場(トイレットペーパー予備置き場等)

2. 快適トイレに要する費用【災害復旧工事以外】

快適トイレに要する費用については、当初は計上していない。

受注者は、上記1の内容を満たす快適トイレであることを示す書類を添付し、規格・基数等の詳細について監督員と協議することとし、精算変更時において、見積書を提出するものとする。

【快適トイレに求める機能】(1)～(6)及び【付属品として備えるもの】(7)～(11)の費用については、従来品相当を差し引いた後、51,000円/基・月を上限に設計変更の対象とする。

なお、設計変更数量の上限は、男女別で各1基ずつ2基/工事(施工箇所)※までとする。

また、運搬・設置費は共通仮設費(率)に含むものとし、2基/工事(施工箇所)※より多く設置する場合や積算上限額を超える費用については、現場環境改善費(率)を想定しており、別途計上は行わない。

※「施工箇所が点在する工事の積算」適用工事や施工延長が長いなどのトイレを施工箇所に応じて複数設置する必要性が認められる工事については、「工事」を「施工箇所」に読み替え、個々の施工箇所で計上できるものとする。

3. その他

快適トイレの手配が困難の場合は、監督員と協議の上、試行の対象外とする。

その他

工 事 仕 様 書

第 1．総則

本工事の仕様は、鳥取県土木工事共通仕様書に準じる。

第 2．特別仕様書

- 1．工事概要
- | | |
|---------|---|
| 工 事 名 | 桜ヶ丘区防火水槽新設工事 |
| 工 事 場 所 | 東伯郡三朝町大字吉田 |
| 工 事 内 容 | 耐震性防火水槽 4 0 m ³ 級
防火水槽の新設工事 |

2．工事完成期限 令和 7 年 1 2 月 1 9 日

3．使用材料

- (1) 本工事に使用する工事用材料（J I S 製品を除く）については、使用前に見本・カタログ及び試験成績書等を提出し、監督員の承諾を得なければならない。
- (2) 材料の規格及び品質については、J I S 規格に適合したもの又はこれと同等以上の品質を有するものでなくてはならない。

① コンクリート

コンクリートは原則としてレディーミクストコンクリートを使用する。セメントは高炉セメントを使用するものとする。

設計基準強度、その他については下表による。

名 称	スランプ	粗骨材最大寸法	摘 要
$\sigma 28 = 18 \text{ N} / \text{mm}^2$	8.0cm	40 mm	無筋コンクリート

② モルタル

セメントは高炉セメントを使用するものとする。また配合は下表のとおりとする。

名 称	セメント(t/m ³)	砂 (m ³)	摘 要
1 : 3	0.53	1.05	

③ コンクリート製品等

名 称	規 格 ・ 品 質	摘 要
耐震性貯水槽	4.9m×3.5m×2.38m	日本消防設備安全センター認定品
吸管投入孔鉄蓋	φ 600	

第 3．施工管理

施工管理は鳥取県土木工事施工管理基準による。

1．施工要点

ア) コンクリート二次製品の構造物の施工は、出来上がりが不揃いにならないよう注意し、滑脱、沈下等の恐れを生じた場合は適切な処置を取らなければならない。

イ) 資材機械等の運搬に際し既存道路及び構造物等を破損した場合は、請負者の負担において速やかに補修し、通行に支障のないようにしなければならない。

なお、交通制限等の必要が有る場合は、あらかじめ監督員の承認を受け、かつ、所要の手続きは速やかに関係諸機関に行うものとする。

ウ) 工事中に重機械等の移動により工事完成部を破損した場合は、速やかに監督員に届けたちに修復しなければならない。この場合、監督員の確認が必要である。

エ) 工事施工について

- ・ 運搬作業に伴う二次製品の取扱いを吊金具又は支点付近で支える 2 点支持で行うとともに、衝撃を与えないように注意しなければならない。
- ・ 接合作業において、モルタル又はジョイント材により、漏水のないよう十分注意して施工しなければならない。

- ・モルタル継目の施工において、据付後よく継目を清掃してから行うものとし、施工後は、振動衝撃を与えてはならない。

第4．安全管理

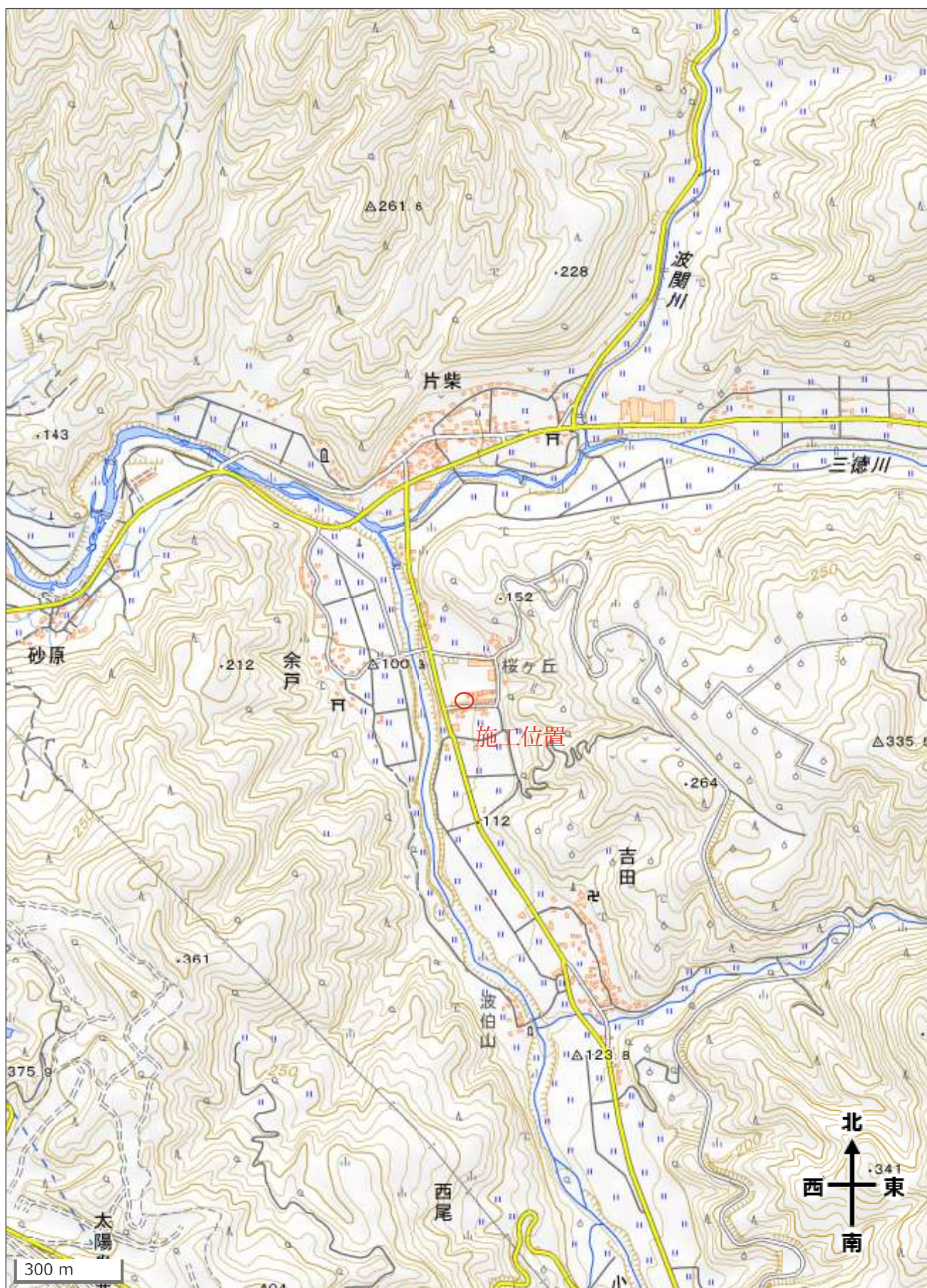
1．安全管理

労働安全衛生法等諸法規を厳守し、工事の安全と円滑な進捗を図る。

- ア) 歩行者及び通行車両等の安全を図るとともに、工事中における作業員の安全を確保すること。
- イ) 掘削作業・土留め作業等工事の安全を図るとともに、建設機械の能力・使用目的を十分に把握し、用途外使用等を行わないこと。

第5．設計変更

請負者は、設計変更を要する事項が発生した場合、速やかに監督員と協議し、その指示に従わなければならない。



工 事 設 計 書

施 工 年 度	令和 0 7 年度
事 業 区 分	防災基盤整備事業（消防施設）
路 線 名 河 川 名 等	
工 事 名	桜ヶ丘区防火水槽新設工事
施 工 位 置	鳥取県東伯郡三朝町吉田
設 計 金 額	
工 事 概 要	耐震性防火水槽 4 0 m3級 N=1基

総括情報表

頁0-0002

事務所 設計書名 変更回数 事業名 適用単価区分 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系 ファイル名	78 三朝町 設計書 当初 07-*****-00001-10 0 1 実施単価 23 三朝町 00-07.06.10(0) 1 公共				
	当 世 代	前 世 代		当 世 代	前 世 代
工種 現場環境改善費 施工地域 緊急工事 契約保証区分 豪雪割増 工事価格端数処理 工期算定区分 週休二日補正係数	09 公園 00 率計上しない 19 補正なし 00 通常工事 0 % 01 金銭保証 (0 . 0 4 %) 01 豪雪割増あり 00 千円止め (土木) 01 算出する 13 完全週休 2 日				

本工事費 内訳書

頁0-0003

費目・工種・施工名称など		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費							X1000
消防施設							Y1E01 (レ^\ Ⅱ1)
				一式			
防火水槽工							Y1E0108 (レ^\ Ⅱ2)
				一式			
土工							Y1E010801 (レ^\ Ⅱ3)
				一式			
床掘り							Y1E01080102 (レ^\ Ⅱ4)
				m3			
床掘り 土砂 標準 土留方式無し 障害無し							SPK24040015 00 A=1,B=1,C=1,D=1,E=1
		180		m3			単第0 -0001 表 070610
埋戻し							Y1E01080103 (レ^\ Ⅱ4)
				m3			
埋戻し 最大埋戻幅1m以上4m未満							SPK24040020 00 A=3,D=1
		110		m3			単第0 -0002 表 070610
基面整正							Y1E01080104 (レ^\ Ⅱ4)
				m2			

本工事費 内訳書

頁0-0004

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
基面整正					SPK24040017 00
	24	m2			単第0 -0003 表 070610
残土処理工					Y1E010110 (レバ Ⅲ3)
		一式			
土砂等運搬					Y1E01011002 (レバ Ⅳ4)
		m3			
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離49.5km以下(22.5km超)					SPK24040002 00 A=1,B=1,C=1,D=1,E=51
	60	m3			単第0 -0004 表 070610
残土等処分					Y1E01011003 (レバ Ⅳ4)
		m3			
投棄料					#0041 C=投棄料
		一式			
建設残土処分料					F9001 00
	60	m3			070610 9
中央建設株式会社 基礎工					Y3999 (レバ Ⅲ3)
		一式			
敷モルタル					Y4999 (レバ Ⅳ4)
		m 3			

本工事費 内訳書

頁0-0005

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
モルタル練 高炉					SPK24040154 00 A=1,B=1
	0.39	m3			単第0 -0005 表 070610
均しコンクリート					Y1E01080602 (レ^\ル4)
		m2			
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB バックハウ(クレーン機能付)打設					SPK24040153 00 A=1,B=2,C=2,F=2,J=1,K=1
	3.95	m3			単第0 -0006 表 070610
型枠 一般型枠 均しコンクリート					SPK24040155 00 A=1,B=5,C=1
	8.5	m2			単第0 -0007 表 070610
基礎材					Y1E01080601 (レ^\ル4)
		m2			
基礎砕石 砕石の厚さ17.5cmを超え20.0cm以下 RC-40					SPK24040034 00 A=4,B=1,D=1
	23.5	m2			単第0 -0008 表 070610
貯水槽工					Y1E010807 (レ^\ル3)
		一式			
耐震性貯水槽材料費					Y1E01080701 (レ^\ル4)
		一式			
耐震性貯水槽材料 40m3 緊張材料含む					V0001 00
	1	一式			単第0 -0009 表 070610

本工事費 内訳書

頁0-0006

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
据付工						Y4999 (レ^\ル4)
			一式			
本体部材据付工						V1001 00
	1		一式			単第0 -0010 表 070610
集水ピット工						V1002 00
	1		一式			単第0 -0011 表 070610
防水工						V1003 00
	1		一式			単第0 -0012 表 070610
張コンクリート						Y1E01080702 (レ^\ル4)
			一式			
張コンクリート t=10cm						V2001 00
	1		箇所			単第0 -0013 表 070610
標識工						Y3999 (レ^\ル3)
			一式			
標識工						Y4999 (レ^\ル4)
			一式			
標識板 防火水槽標識 φ 600						V3001 00
	1		基			単第0 -0015 表 070610

本工事費 内訳書

頁0-0007

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
附帯工						Y3999 (レ^\ Ⅱ3)
			一式			
既設石積取壊し・復旧						Y4999 (レ^\ Ⅱ4)
			一式			
既設石積取壊し 岩塊・玉石 現場制約あり 歩掛準用（掘削工）	1.5	m3				SPK24040001 00 A=2,B=3 単第0 -0018 表 070610
石積(張) 積工 練石 玉石	4	m2				SPK24040063 00 A=1,B=1,C=1 単第0 -0019 表 070610
胴込・裏込コンクリート_石積(張) 積工 18-8-40BB	0.3	m3				SPK24040065 00 A=1,B=2,D=1 単第0 -0020 表 070610
ブロック積撤去・復旧						Y4999 (レ^\ Ⅱ4)
			一式			
ブロック積撤去・再設置 据付・撤去 基礎砕石無し 現地発生材再利用 歩掛準用（プレート製品設置・撤去）	4	m				SPK24040098 00 A=3,B=2,C=7,D=1,E=1 単第0 -0021 表 070610
仮設工						Y3999 (レ^\ Ⅱ3)
			一式			
敷鉄板						Y1E01150104 (レ^\ Ⅱ4)
		m2				

本工事費 内訳書

頁0-0008

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
敷鉄板設置					S1050041 00
	75	m2			単第0 -0022 表 070610
敷鉄板撤去					S1050043 00
	75	m2			単第0 -0024 表 070610
敷鉄板賃料 22×914×1829,289kg/枚 賃貸期間 1 4 日					S1050029 00 A=1,B=1,C=14,D=2
	45	枚			単第0 -0025 表 070610
ポンプ排水					Y1E01150601 (レベル4)
		日			
排水ポンプ設置・撤去工					S0812 00
	1	箇所			単第0 -0026 表 070610
ポンプ運転 排水量 0以上40未満 (m3/h) 作業時排水					S1050031 00 A=1,B=1
	5	日			単第0 -0028 表 070610
交通誘導警備員					Y1E01152101 (レベル4)
		人			
交通誘導警備員B					R0369 00
	5	人			070610 1
* * 直接工事費 * *					

本工事費 内訳書

頁0-0009

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
運搬費										Z0004	
	仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬 運搬距離 10.9 km 製品長 12m以内									S1000007 00 A=10.9,B=1,C=1,D=1,E=13,F=1,H=1,J=1,L=1	
		1		一	式					単第0 -0031 表	070610
共通仮設費											
* * 共通仮設費計 * *											
* * 純工事費 * *											
現場管理費											
* * 工事原価 * *											
一般管理費率 分											
契約保証費											

本工事費 内訳書

頁0-0010

費目・工種・施工名称など		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
一般管理費計							
工事価格							
消費税相当額							
工事費計							

施工単価表

頁0-0011

床掘り

土砂 標準

機械構成比： 23.14%

労務構成比： 53.20%

SPK24040015

土留方式無し 障害無し

材料構成比： 23.66%

市場単価構成比： 0.00%

単第0 -0001 表

1

m3 当り

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6m3) 排1～3,2011,2014	23.14%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
特殊運転手	53.20%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 小型ローリー(パトロール給油)	23.66%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 C=1 土留方式無し E=1 -(全ての費用)			B=1 標準 D=1 障害無し		

埋戻し

SPK24040020

最大埋戻幅1m以上4m未満

施工単価表

単第0 -0002 表

頁0-0012

機械構成比： 9.76%

労務構成比： 81.50%

材料構成比： 8.74%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価： 1

m3 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6m3) 排1～3,2011,2014	8.18%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
<賃>振動ローラ(ハンドガイド式) 質量0.5～0.6t	1.48%		振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 質量0.5～0.6t		KTPC00070 KTPT00070
<賃>タンパ(ランマ) 質量60～80kg	0.10%		タンパ及びランマ 質量60～80kg		KTPC00020 KTPT00020
普通作業員	39.69%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	26.02%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
特殊運転手	15.79%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 小型ローリー(パトロール給油)	8.61%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン レギュラー スタンド	0.13%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001

埋戻し

SPK24040020
最大埋戻幅1m以上4m未満

単第0 -0002 表

1
m3 当り

頁0-0013

機械構成比：9.76%	労務構成比：81.50%	材料構成比：8.74%	市場単価構成比：0.00%	標準単価：	
代表機労材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
A=3 最大埋戻幅1m以上4m未満			D=1 -(全ての費用)		

基面整正

SPK24040017

施工単価表

単第0 -0003 表

頁0-0014

機械構成比：0.00% 労務構成比：100.00% 材料構成比：0.00% 市場単価構成比：0.00% 標準単価：1 m2 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
普通作業員	100.00%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
積算単価			積算単価		EP001

施工単価表

頁0-0015

土砂等運搬

SPK24040002

単第0 -0004 表

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間無し 距離49.5km以下(22.5km超)

1

m3 当り

機械構成比: 45.59% 労務構成比:

39.52%

材料構成比: 14.89%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	45.59%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
一般運転手	39.52%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 小型ローリー(パトロール給油)	14.89%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=51 距離49.5km以下(22.5km超)			B=1 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) D=1 DID区間無し		

モルタル練
高炉

SPK24040154

施工単価表

単第0 -0005 表

頁0-0016

機械構成比： 0.00% 労務構成比： 83.30% 材料構成比： 16.70% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 1 m3 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
普通作業員	55.43%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	27.71%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
セメント(高炉B) 25kg袋入	11.28%		セメント 高炉B 25kg袋入		TTPC00063 TTPT00063
砂細目(洗い) コンクリート用	5.42%		砂 細目(洗い)		TTPC00066 TTPT00066
積算単価			積算単価		EP001
A=1 高炉			B=1 -(全ての費用)		

施工単価表

頁0-0017

コンクリート

SPK24040153

単第0 -0006 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 3.79%

労務構成比:

35.68%

材料構成比: 60.53%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン付) 山積0.8m3(平積0.6m3) 吊能力2.9t	3.58%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	10.28%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	9.55%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	7.10%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊運転手	6.64%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート 高炉 18-8-40 W/C60%以下	58.70%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
軽油 小型ローリー(パトロール給油)	1.73%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0-0018

コンクリート

SPK24040153

単第0 -0006 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比： 3.79%

労務構成比： 35.68%

材料構成比： 60.53%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=2 18-8-40BB J=1 -			B=2 バックホウ(クレーン機能付)打設 F=2 一般養生 K=1 -(全ての費用)		

施工単価表

頁0-0019

型枠

SPK24040155

単第0 -0007 表

一般型枠

均しコンクリート

1

m2 当り

機械構成比： 0.00%

労務構成比： 100.00%

材料構成比： 0.00%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
型わく工	58.35%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	20.27%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	6.13%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=5 均しコンクリート		

施 工 単 価 表

SPK24040034

単第0 -0008 表

基礎碎石
碎石の厚さ17.5cmを超え20.0cm以下
機械構成比： 4.99% 労務構成比： 69.17%

RC-40

材料構成比： 25.84%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価： 1

m2 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
<賃>バックハウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6m3) 排1～3,2011,2014	4.96%		バックハウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	33.14%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	14.04%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
特殊運転手	13.23%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	8.28%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャーラン R C - 4 0	21.33%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	4.48%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施 工 単 価 表

SPK24040034

単第0 -0008 表

基礎砕石
砕石の厚さ17.5cmを超え20.0cm以下

RC-40

1

m2 当り

機械構成比： 4.99% 労務構成比： 69.17% 材料構成比： 25.84% 市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001
A=4 D=1 砕石の厚さ17.5cmを超え20.0cm以下 -(全ての費用)			B=1 RC-40		

施 工 単 価 表

頁0-0022

耐震性貯水槽材料
40m3

V0001

単第0 -0009 表

緊張材料含む

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
中間ボックスA部材 3,900×2,800×1,500 9,960kg	2	個			F0003 見積
中間ボックスB部材 3,900×2,800×1,500 9,745kg	1	個			F0004 見積
端面部材 3,900×2,800×400 6,640kg	2	個			F0005 見積
集水ビット部材 PH500 1,040×1,040×500 1,100kg	1	個			F0006 見積
人孔鉄蓋 φ 600	1	組			F0007 見積
本体部材緊張材 PC鋼材 SWPR 7B φ15.2	26.0	k g			F0009 見積
本体部材緊張材 PC鋼材定着具	8	組			F0010 見積
諸雑費	1	式			#91
*** 単位当たり ***	1	一式			

本体部材据付工

V1001

施 工 単 価 表

単第0 -0010 表

頁0-0023

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<賃>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 50t吊 オペレータ付 排1～3,2011,2014	1.0	日			KTPC00017 長期割引適用外 9
土木一般世話役	1.0	人			RTPC00009 9
特殊作業員	4.0	人			RTPC00001 9
普通作業員	3.0	人			RTPC00002 9
その他消耗材	7	%			#09
*** 単位当たり ***	1	一式			

施 工 単 価 表

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員	0.15	人			RTPC00001
普通作業員	0.15	人			RTPC00002
諸雑費	1	式			#91
*** 単位当たり ***	1	一式			

防水工

V1003

施 工 単 価 表

単第0 -0012 表

頁0-0025

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
コーキング材 エポキシ樹脂	47.2	m			F0001 見積 9
バックアップ材	47.2	m			F0002 見積 9
土木一般世話役	1.0	人			RTPC00009 9
特殊作業員	3.5	人			RTPC00001 9
機械損料、諸雑費	5	%			#09
*** 単位当たり ***	1	一式			

施 工 単 価 表

V2001

単第0 -0013 表

張コンクリート
t=10cm

1 箇所 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB 人力打設	2.04	m3			SPK24040153 単第0-0014 表
型枠 一般型枠 均しコンクリート	1.8	m2			SPK24040155 単第0-0007 表
諸雑費	1	式			#91
*** 単位当たり ***	1	箇所			

施 工 単 価 表

頁0-0027

コンクリート

SPK24040153

単第0 -0014 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

人力打設

1

m3 当り

機械構成比： 0.00%

労務構成比： 29.40%

材料構成比： 70.60%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
普通作業員	13.20%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	7.51%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	6.69%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート 高炉 18-8-40 W/C60%以下	70.60%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=2 18-8-40BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=1 -		

施 工 単 価 表

V3001

単第0 -0015 表

1 基 当り

標識板
防火水槽標識φ600

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
標識柱・基礎設置(路側式)[単柱式・複柱式] 単柱式 静電粉体塗装(白色) 柱径φ60.5 [規]2基以下	1	基			SS000067 単第0-0016 表
標識板設置 警戒・規制・指示・路線番号標識 [規]2基以下	0.28	基			SS000223 単第0-0017 表
諸雑費	1	式			#91
*** 単位当たり ***	1	基			

施 工 単 価 表

標識柱・基礎設置(路側式)[単柱式・複柱式]
単柱式 静電粉体塗装(白色)

SS000067

単第0 -0016 表

1 基 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
道路標識設置工 標識柱・基礎 路側式 単柱式 静電粉体塗装 径 6 0 . 5	1.000	基			TS579
諸雑費	1	一式			#91
* * * 単位当たり * * *	1	基			
A=1 単柱式 C=1 柱径 φ 60.5 F=1 -			B=3 静電粉体塗装(白色) D=3 [規]2基以下 G=1 -		

施 工 単 価 表

単第0 -0017 表

SS000223

標識板設置

警戒・規制・指示・路線番号標識

[規]2基以下

1 基 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
道路標識設置工 標識板 設置手間 警戒 規制 指示 路線番号標識	1.000	基			TS608
諸雑費	1	一式			#91
1基当り		基			+00
*** 単位当たり ***	1	基			
A=3 警戒・規制・指示・路線番号標識 F=1 -			D=5 [規]2基以下 G=1 -		

施 工 単 価 表

SPK24040001

単第0 -0018 表

既設石積取壊し
岩塊・玉石 現場制約あり
機械構成比： 0.00%

労務構成比： 100.00%

材料構成比： 0.00%

歩掛準用（掘削工）
市場単価構成比： 0.00%

標準単価： 1

m3 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
普通作業員	100.00%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
積算単価			積算単価		EP001
A=2 岩塊・玉石			B=3 現場制約あり		

施工単価表

頁0-0032

石積(張)

積工

機械構成比：

7.13%

労務構成比：

練石 玉石

89.53%

材料構成比：

3.34%

市場単価構成比：

0.00%

標準単価：

1

m2

当り

単第0 -0019 表

SPK24040063

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン付) 山積0.28m3(平積0.2m3) 吊能力1.7t	7.13%		バックホウ クローラ型 クレーン機能付1.7t 山積0.28m3(平積0.2m3)		KTPC00019 KTPT00019
普通作業員	44.18%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊運転手	25.59%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
石工	14.91%		石工		RTPC00017 RTPT00017
土木一般世話役	4.85%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
軽油 小型ローリー(パトロール給油)	3.34%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 積工 C=1 玉石			B=1 練石		

施 工 単 価 表

胴込・裏込コンクリート_石積(張)

SPK24040065

単第0 -0020 表

積工

18-8-40BB

1

m3 当り

機械構成比： 1.99% 労務構成比： 29.96% 材料構成比： 68.05% 市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
<賃>バックハウ(クローラ型クレーン付) 山積0.28m3(平積0.2m3) 吊能力1.7t	1.99%		バックハウ クローラ型 クレーン機能付1.7t 山積0.28m3(平積0.2m3)		KTPC00019 KTPT00019
普通作業員	11.58%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	10.35%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
特殊運転手	7.16%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート 高炉 18-8-40 W/C60%以下	67.12%		生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		TTPCD0010 TTPT00003
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	0.93%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		E9999
A=1 積工 D=1 -			B=2 18-8-40BB		

施工単価表

頁0-0034

ブロック積撤去・再設置

SPK24040098

単第0 -0021 表

据付・撤去 基礎砕石無し

現地発生材再利用

歩掛準用(プレキャスト製品設置・撤去)

1

m 当り

機械構成比: 5.70%

労務構成比:

66.33%

材料構成比:

27.97%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックハウ(クローラ型) 標準型・クレーン機能付き・排1 山積0.45/平積0.35m3,吊能力2.9t	5.09%		バックハウ(クローラ型) 標準型・クレーン機能付き・排1 山積0.45/平積0.35m3,吊能力2.9t		MTPC00063 MTPT00063
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	33.41%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	13.44%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊運転手	8.24%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	4.14%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
現地発生材再利用	25.58%		鉄筋コンクリートL形(JISA5372)300 500×155×600 参考質量65kg		F0000000001 TTPT00101
軽油 小型ローリー(パトロール給油)	2.14%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施 工 単 価 表

ブロック積撤去・再設置

SPK24040098

単第0 -0021 表

据付・撤去 基礎碎石無し

現地発生材再利用

歩掛準用(プレキャスト製品設置・撤去)

1

m 当り

機械構成比: 5.70%

労務構成比:

66.33%

材料構成比: 27.97%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001
A=3 据付・撤去 C=7 L形側溝(各種) E=1 -(全ての費用)			B=2 基礎碎石無し D=1 【F】L形側溝(個)		

敷鉄板設置

S1050041

施 工 単 価 表

単第0 -0022 表

頁0-0036

100 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.152	人			RTPC00009 9
とび工	0.152	人			RTPC00004 9
普通作業員	0.152	人			RTPC00002 9
機-28_バックホウ運転(賃料) クレーン付2.9t吊_山積0.8m3	0.152	日			S9035 単第0-0023 表 9
諸雑費	1	%			#09
*** 合計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			
土木一般世話役 = 1 * 100 / D = 1 * 100 / 656 = 0.152(人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め とび工 = 1 * 100 / D = 1 * 100 / 656 = 0.152(人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め 普通作業員 = 1 * 100 / D = 1 * 100 / 656 = 0.152(人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め バックホウ(クローラ型)運転 = 100 / D = 100 / 656 = 0.152(日) 小数第4位四捨五入小数第3位止め					

施 工 単 価 表

機-28 バックハウ運転(賃料)
クレーン付2.9t吊 山積0.8m3

S9035

単第0 -0023 表

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊運転手	1.00	人			RTPC00006
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	119.00	L			TTPC00013
<賃>バックハウ(クローラ型クレーン付) 山積0.8m3(平積0.6m3) 吊能力2.9t	1.06	供用日			KTPC00006
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	日			
A=19 クレーン付2.9t吊_山積0.8m3 C=1 運転労務数量(人/日)			B=119 軽油消費量(L/日) D=1.06 機械賃料数量(供用日/日)		

敷鉄板撤去

S1050043

施 工 単 価 表

単第0 -0024 表

頁0-0038

100

m2

当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.143	人			RTPC00009 9
とび工	0.143	人			RTPC00004 9
普通作業員	0.143	人			RTPC00002 9
機-28_バックホウ運転(賃料) クレーン付2.9t吊_山積0.8m3	0.143	日			S9035 単第0-0023 表 9
諸雑費	1	%			#09
*** 合計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			
土木一般世話役 = 1 * 100 / D = 1 * 100 / 701 = 0.143(人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め とび工 = 1 * 100 / D = 1 * 100 / 701 = 0.143(人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め 普通作業員 = 1 * 100 / D = 1 * 100 / 701 = 0.143(人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め バックホウ(クローラ型)運転 = 100 / D = 100 / 701 = 0.143(日) 小数第4位四捨五入小数第3位止め					

施 工 単 価 表

頁0-0039

敷鉄板賃料

S1050029

単第0 -0025 表

22×914×1829,289kg/枚

賃貸期間 1 4 日

1 枚 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(賃料)鉄板 22×914×1829,289kg/枚 90日以内	14.000	枚・日			K0100041
(賃料)鉄板 22×914×1829,289kg/枚 整備費	1.000	枚			K0100049
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	枚			
A=1 22×914×1829,289kg/枚 C=14 敷鉄板賃貸期間 (日)			B=1 賃料 D=2 整備費有り		

排水ポンプ設置・撤去工

S0812

施 工 単 価 表

単第0 -0026 表

頁0-0040

1 箇所 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.500	人			RTPC00009
特殊作業員	0.100	人			RTPC00001
普通作業員	2.000	人			RTPC00002
機-28_バックホウ運転(賃料) クレーン付2.9t吊_山積0.8m3	0.500	日			S9035 単第0-0027 表
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	箇所			

施 工 単 価 表

機-28 バックハウ運転(賃料)
クレーン付2.9t吊 山積0.8m3

S9035

単第0 -0027 表

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊運転手	1.00	人			RTPC00006
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	65.00	L			TTPC00013
<賃>バックハウ(クローラ型クレーン付) 山積0.8m3(平積0.6m3) 吊能力2.9t	1.16	供用日			KTPC00006
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	日			
A=12 クレーン付2.9t吊_山積0.8m3 C=1 運転労務数量(人/日)			B=65 軽油消費量(L/日) D=1.16 機械賃料数量(供用日/日)		

施 工 単 価 表

S1050031

単第0 -0028 表

ポンプ運転
排水量 0以上40未満 (m3/h)

作業時排水

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員	0.140	人			RTPC00001 9
建設用ポンプ(水中ポンプ)運転 口径150mm,揚程10m 7.5kw	1.000	日			S9000045 単第0-0029 表 9
機-16_発動発電機運転 ディーゼル25kVA 排出ガス対策型2次基準	1.000	日			S9469 単第0-0030 表 9
諸雑費	3	%			#09
*** 単位当たり ***	1	日			
A=1 排水量 0以上40未満 (m3/h)			B=1 作業時排水		

施 工 単 価 表

建設用ポンプ(水中ポンプ)運転
口径150mm,揚程10m

S9000045

単第0 -0029 表

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<賃>工事用水中ポンプ φ 150mm 出力7.5kW 揚程10m程度	1.20	供用日			KR0908
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	日			
A=3 口径150mm,揚程10m			B=1.2	機械賃料数量(供用日/日)	

施 工 単 価 表

頁0-0044

機-16 発動発電機運転
ディーゼル25kVA

S9469
排出ガス対策型2次基準

単第0 -0030 表

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
軽油 小型ローリー（パトロール給油）	22.00	L			TTPC00013
<賃>発動発電機(ディーゼル発電機) 出力25kVA	1.20	供用日			KR020003
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	日			
A=6 ディーゼル25kVA C=1.2 機械賃料数量(供用日/日)			B=22 燃料消費量(L/日) D=3 排出ガス対策型2次基準		

施 工 単 価 表

仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬 S1000007
運搬距離 10.9 km 製品長 12m以内

単第0 -0031 表
1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
基本運賃 運搬距離 10.9 km 製品長 12m以内 運搬質量 13 t	1.000	一式			S1000009 単第0-0032 表
往復					+00
積込み,取卸しに要する費用	1.000	一式			S1000009 単第0-0033 表
*** 単位当たり ***	1	一式			
A=10.9 運搬距離(km) C=1 - E=13 運搬質量(t) H=1 - L=1 基地積込み・取卸し,現場積込み・取卸し			B=1 12m以内 D=1 - F=1 - J=1 -		

施 工 単 価 表

単第0 -0032 表

S1000009

基本運賃

運搬距離 10.9 km

製品長 12m以内 運搬質量 13 t

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
基本運賃	1.000	一式			JU001
t当り基本運賃	13.000	t			E0001
*** 単位当たり ***	1	一式			
A=1 基本運賃 C=1 12m以内			B=10.9 運搬距離(km) D=13 運搬質量(t)		

積み込み, 取り外しに要する費用

S1000009

施 工 単 価 表

単第0 -0033 表

頁0-0047

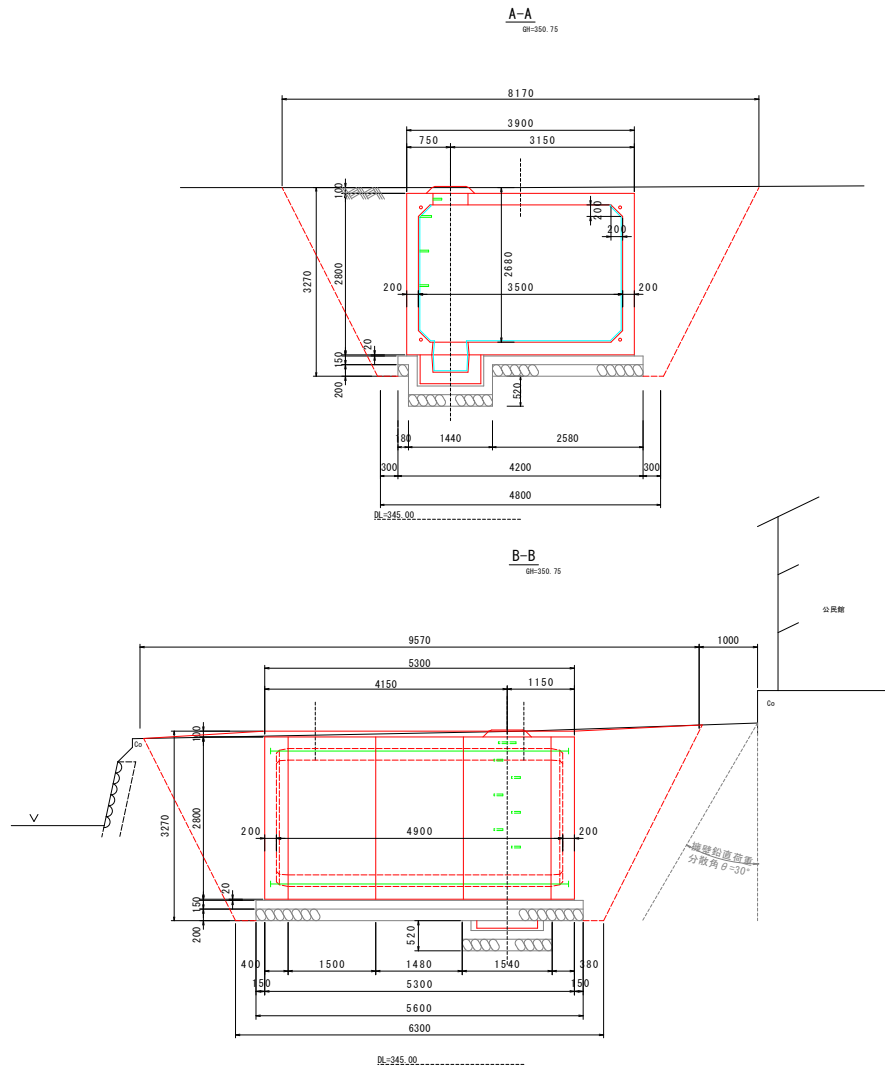
1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
仮設材積み込み費（基地）	13.000	t			KR00E006
仮設材取り外し費（現場）	13.000	t			KR00E009
仮設材積み込み費（現場）	13.000	t			KR00E008
仮設材取り外し費（基地）	13.000	t			KR00E007
*** 単位当たり ***	1	一式			
A=5 K=1 積み込み, 取り外しに要する費用 基地積み込み・取り外し, 現場積み込み・取り外し			D=13 運搬質量(t)		

数量総括表

種 別	細 別	規 格	単位	数 量	設計数量	備 考
土工						
	床掘り	砂質土	m3	178.4	180	
	埋戻し	流用土 1m≦Wmax<4m	m3	108.7	110	
	基面整正		m2	23.5	24	
	残土処分	中央建設(株)	m3	57.6	60	
基礎工						
	敷モルタル	高炉 1:3	m3	0.39	0.39	
	基礎コンクリート	σ ck=18.0N/mm2 t=150mm	m3	3.95	3.95	
	基礎コン型枠	均し	m2	8.5	8.5	
	基礎砕石	RC-40 t=200mm	m2	23.5	23.5	
貯水槽工						
	耐震性貯水槽材料	40m3	式	1.0	1	
	据付工	本体、集水ピット、防水	式	1.0	1	
	張コンクリート	t=10cm	箇所	1.0	1	Co V=2.04m3 型枠 A=1.8m2
標識工						
	標識板	防火水槽標識 φ 600	基	1.0	1	
付帯工						
	既設石積取壊し・復旧	練石積 控35cm	m2	4.4	4	取壊しV=1.5m3 胴込CoV=0.3m3
	ブロック積撤去・再設置	空積 1段	m	4.0	4	
仮設工						
	敷鉄板設置・撤去	22×914×1829 重量289kg/枚	m2	75	75	※図面より
	敷鉄板賃料	22×914×1829	枚	45	45	N=14日
	水替工	排水ポンプ設置撤去 排水ポンプ運転	式	1	1	N=5日
	交通誘導員		人	5	5	※交代要員なし
運搬費						
	仮設材等(敷鉄板)運搬	運搬重量W=13t	式	1	1	

作業土工 計 算 書

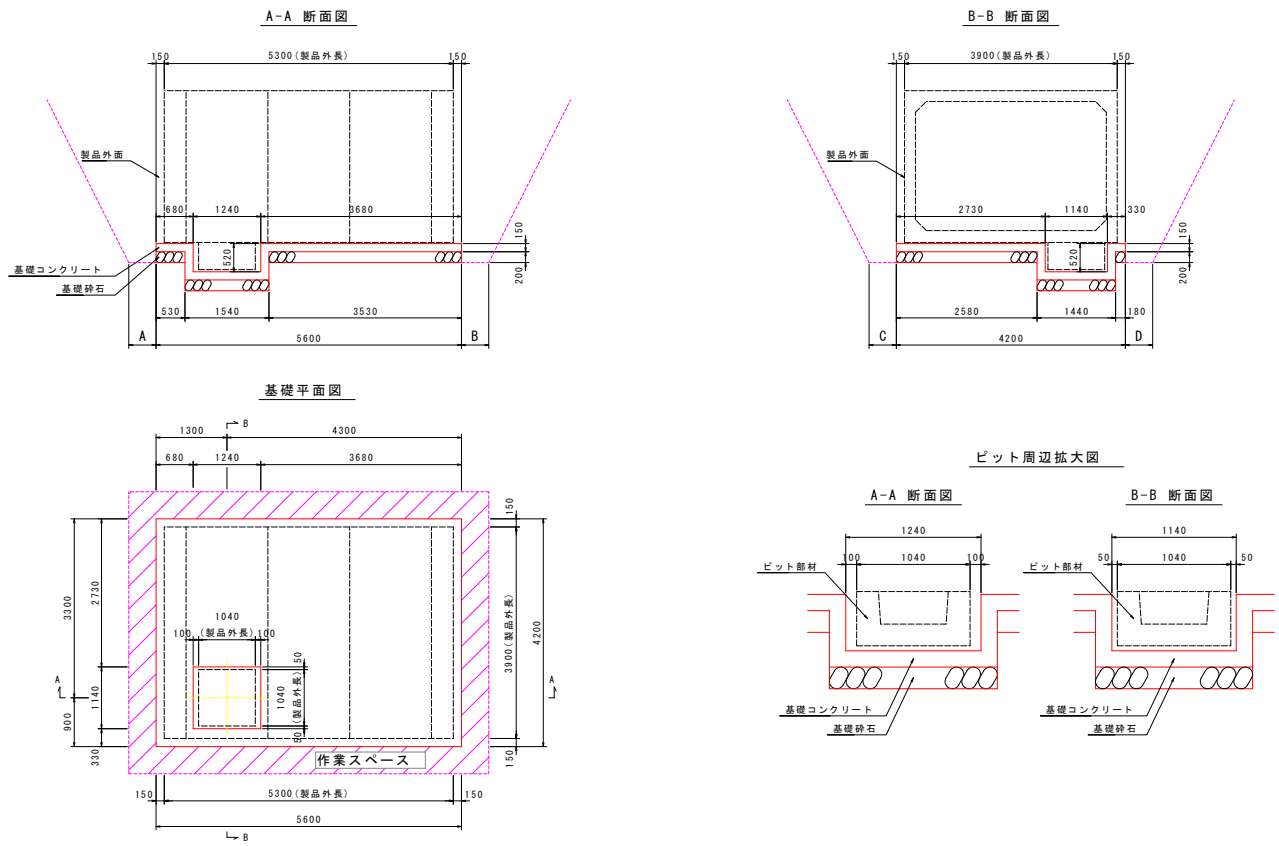


(1.0箇所当り)

名 称	規 格	計 算 式	単位	数 量	備 考
床掘	土砂	$3.27/6 * (9.57 * 8.17 + 6.3 * 4.8 + 2 * (9.57 * 8.17 + 6.3 * 4.8)) + 1.44 * 1.54 * 0.52$	m3	178.4	
埋戻し		$178.4 - 3.9 * 5.3 * 2.92 - 4.2 * 5.6 * 0.35 - 1.44 * 1.54 * 0.52$	m3	108.7	
基面整正		$4.2 * 5.6$	m2	23.5	
残土処理	土砂	$178.4 - 108.7 * 1 / 0.9$	m3	57.6	

基礎工 計 算 書

基 礎 図



(1.0箇所当り)

名 称	規 格	計 算 式	単位	数 量	備 考
敷モルタル	1:3	$(5.30 \times 3.90 - 1.24 \times 1.14) \times 0.02$	m3	0.39	
基礎コンクリート	$\sigma_{ck}=18.0\text{N/mm}^2$ t=150mm	$(5.60 \times 4.20 + (1.24 + 1.14 + 2 \times 0.15) \times 0.52 \times 2) \times 0.15$	m3	3.95	
基礎コン型枠	均し	$2 \times (5.60 + 4.20) \times 0.15 + (4 \times (1.24 + 1.14) + 8 \times 0.15) \times 0.52$	m2	8.5	
基礎砕石	RC-40 t=200mm	5.60×4.20	m2	23.5	

耐震性貯水槽 材 料 表

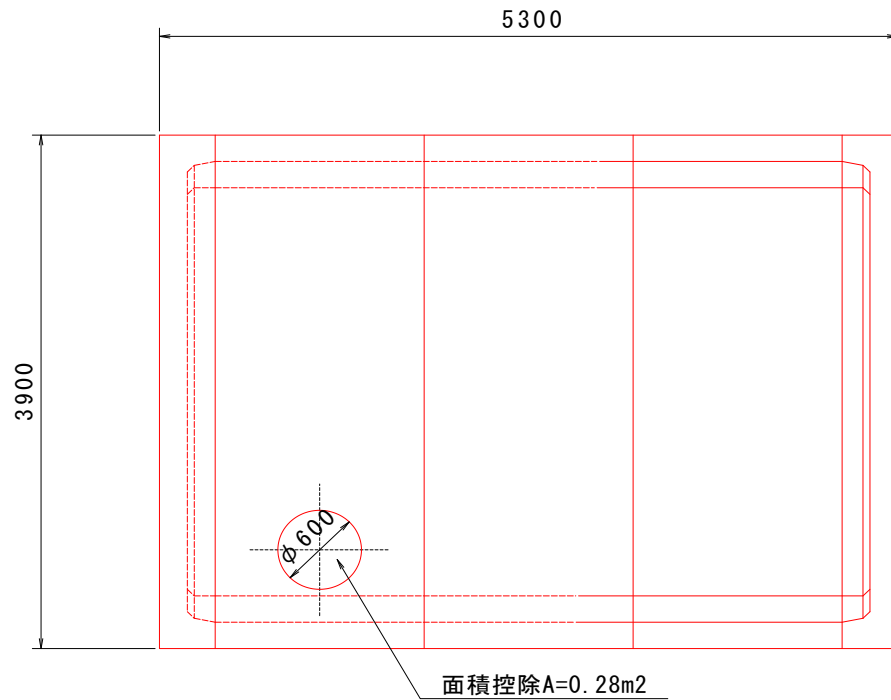
[illegible]

(1.0式当り)

名 称	規 格	計 算 式	単位	数 量	備 考
中間ボックス A部材	3,900×2,800× 1,500	参考重量9,960kg	個	2	
中間ボックス B部材	3,900×2,800× 1,500	参考重量 9,745kg	個	1	
端面部材	3,900×2,800× 400	参考重量6,640kg	個	2	
集水ピット部材 PH500	1,040×1,040× 500	参考重量1,100kg	個	1	
人孔鉄蓋	φ 600		組	1	
【緊張材料】					
PC鋼材	SWPR 7B φ 15.2		(本) kg	(4) 26.0	
PC鋼材定着具			組	8.0	

張コンクリート 計 算 書

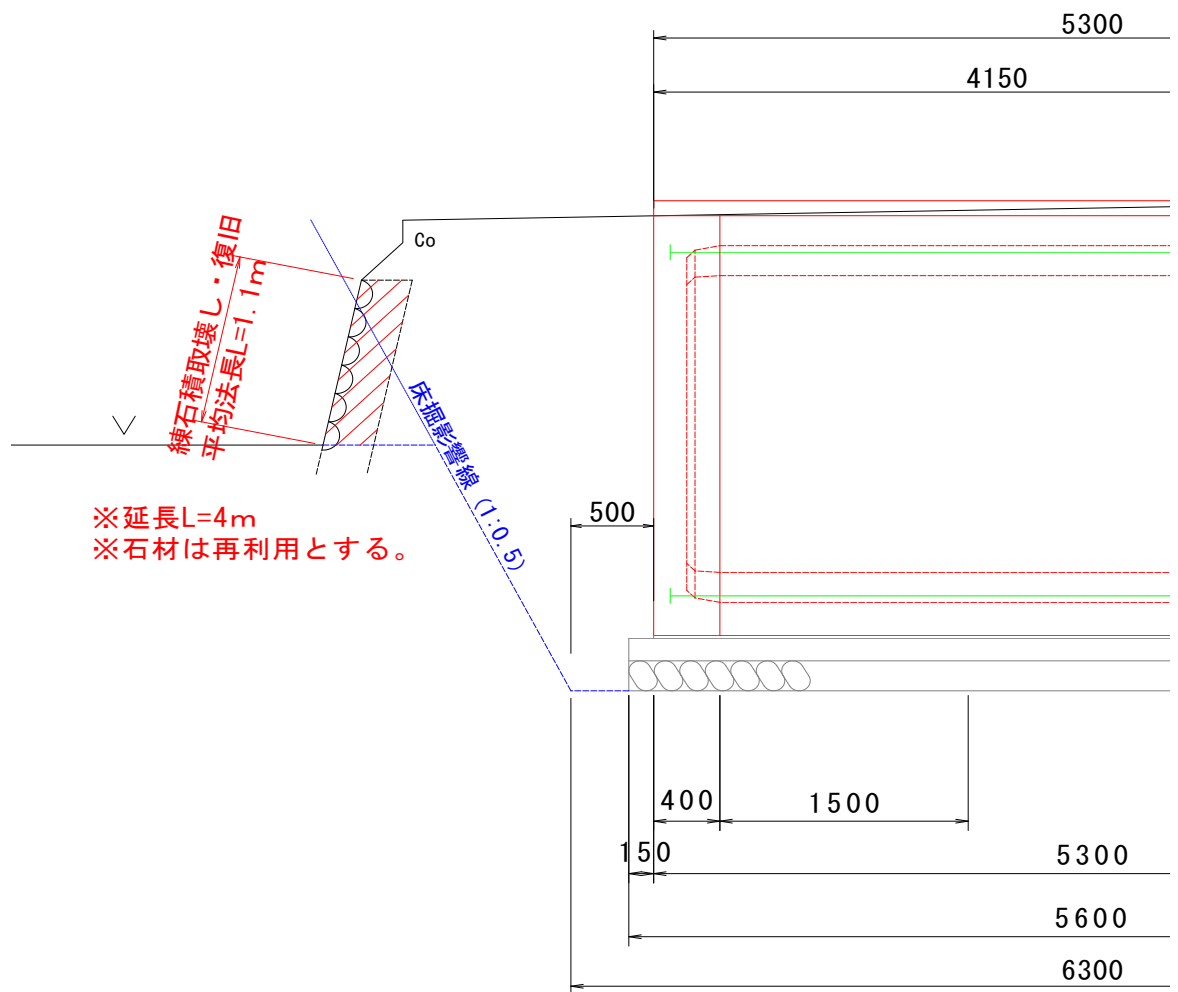
平面图



(1.0箇所当り)

[illegible]

練石積取壊し・復旧 計 算 書

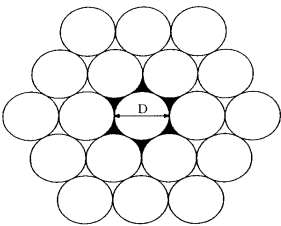


(1.0箇所当り)

[illegible]

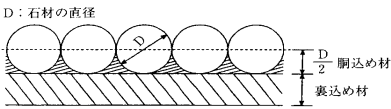
練石積 胴込コンクリート量計算書

7) 基本数量の算出基準（参考）
石材及び胴込・裏込材の基本数量の算出



1 個当りの占有面積
 $A' = \frac{\sqrt{3}}{2} D^2$

図 1－4 石材 1 個当りの占有面積



胴込材は、径の $\frac{1}{2}$ まで入れる。

図 1－5 胴込材 数量の算定

第 1－5 表 石材の基本数量

径 (m)	体 積 (m^3 /個)	面 積 (m^2 /個)	占有面積 (m^2 /個)	10 m^2 当り基本数量 (個)
D	$V = \pi D^3/6$	$A = (\pi D^2/4)$	$A' = \frac{\sqrt{3}}{2} D^2$	$N = 10/A'$

第 1－6 表 胴込・裏込材の基本数量

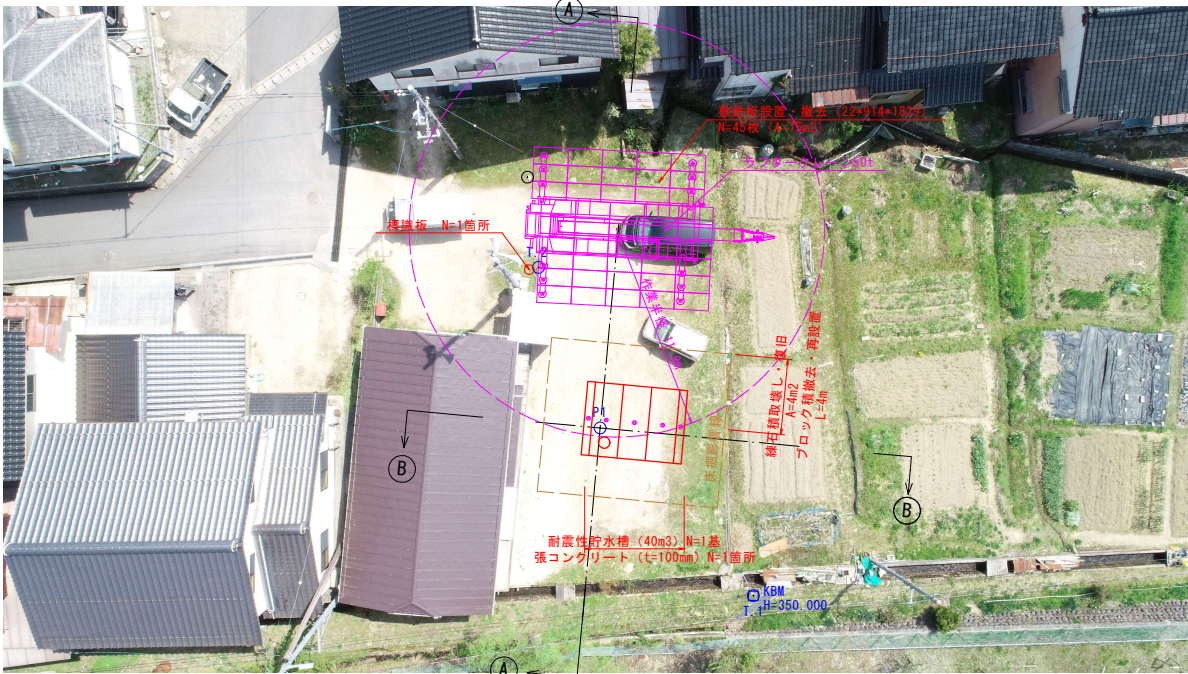
工 種	裏 込 材		胴 込 材	
	種 類	10 m^2 当り基本数量(m^3)	種 類	10 m^2 当り基本数量(m^3)
空 石 張	砕 石 等	施工厚(m)×10(m^3)	雑 割 石 主 梁 石 等	$[(D \times 10m^2) - (V \times N)]/2$
練石張及び練石積	砕 石 等 及 び コンクリート	施工厚(m)×10(m^3)	コンクリート	$[(D \times 10m^2) - (V \times N)]/2$

石材径D= 0.35

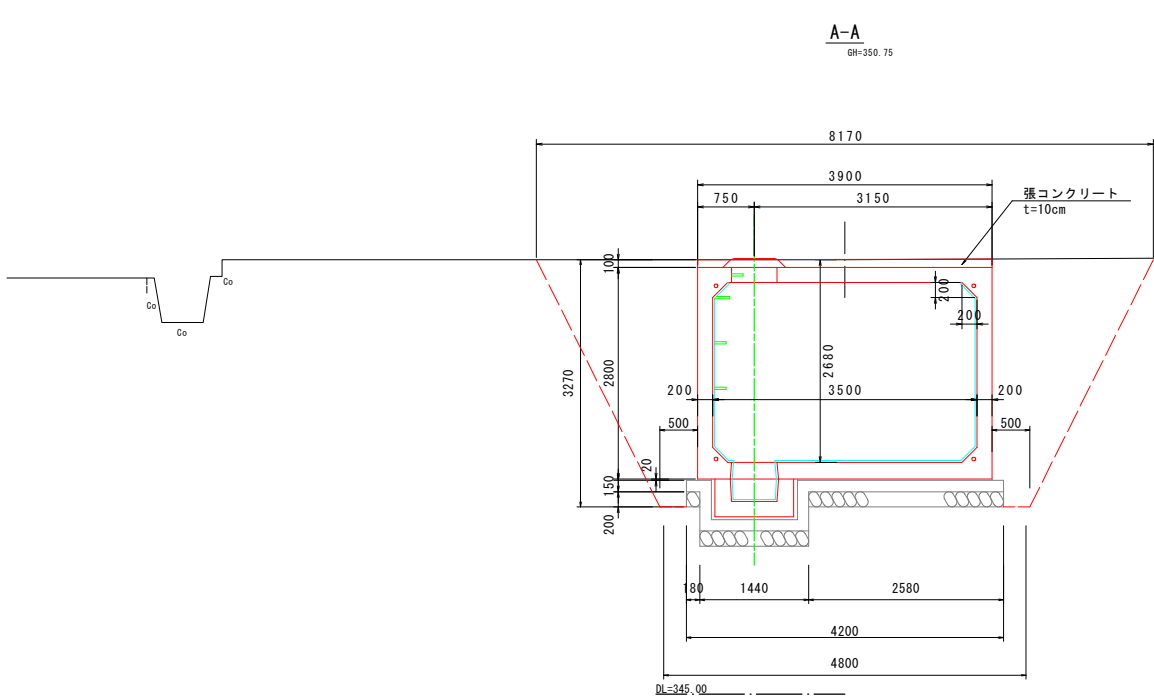
体積 V m^3 /個	面積 A m^2 /個	占有面積 A' m^2 /個	10 m^2 当り石材数量 N 個	10 m^2 当り胴込材数量 m^3
0.022	0.096	0.106	94	$\{(0.35 \times 10m^2) - (0.022 \times 94)\}/2 = 0.716$

1.0 m^2 当り胴込材数量 = 0.07 m^3

平面図 S=1:200



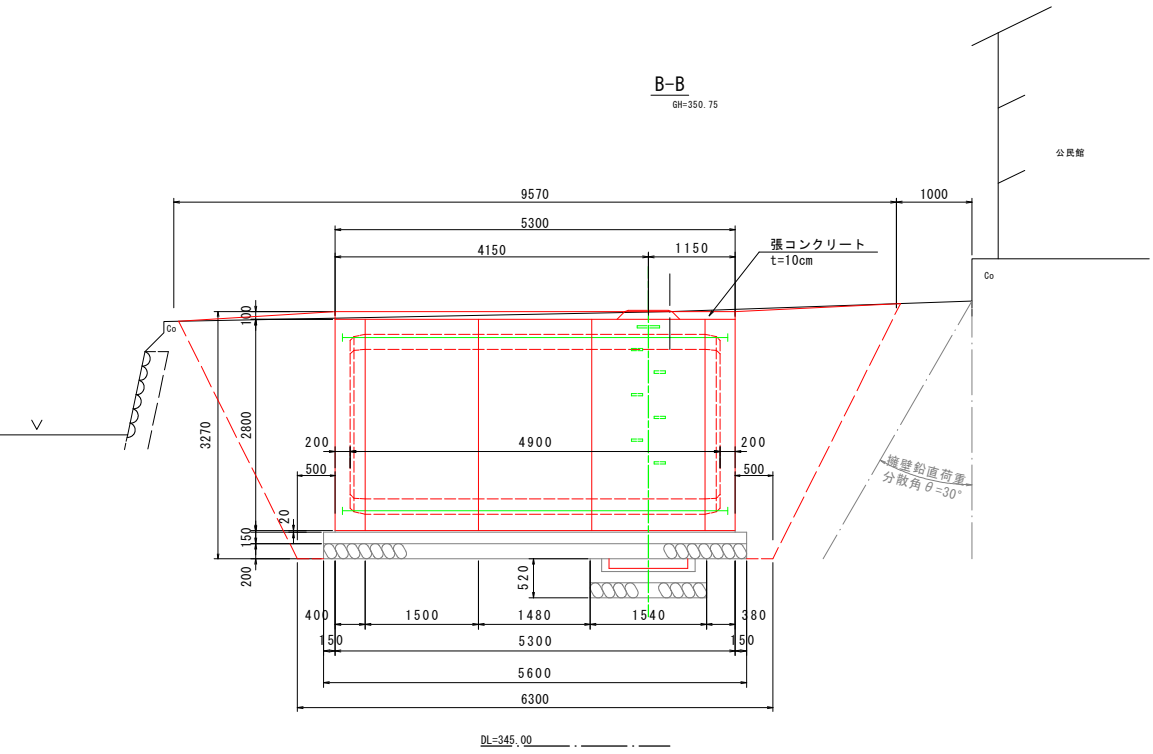
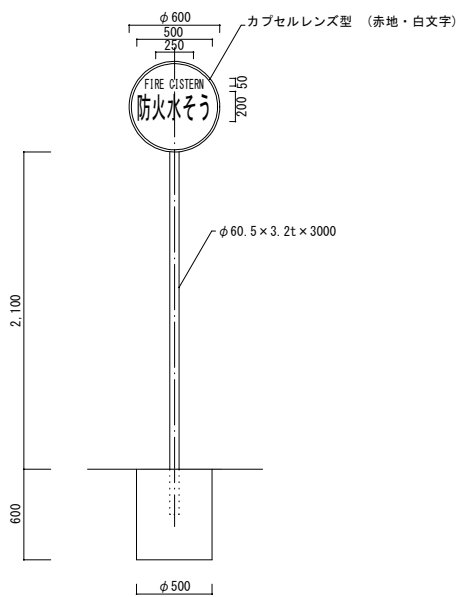
横断面図 S=1:50



桜ヶ丘区防火水槽数量表

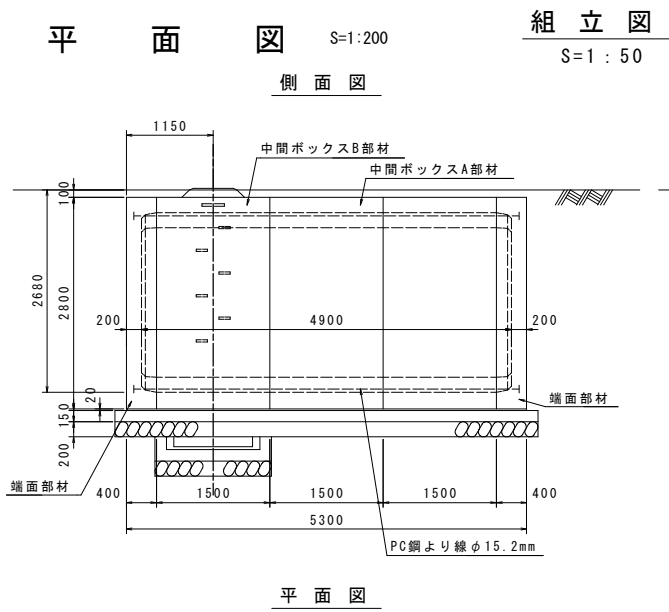
名称	規格	単位	数量	備考
床掘	砂質土	m3	180	
埋戻	1m≦Wmax<4m	m3	110	
基面整正		m2	24	
残土処分		m3	60	
基礎工		式	1	
耐震性貯水槽	40m3	式	1	
張コンクリート	t=10cm	箇所	1	
既設石積取壊し・復旧	練石積 控35cm	m2	4	
ブロック積撤去・再設置	空積 1段	m	4	
敷鉄板設置・撤去	22×914×1829	m2	75	

標識板 S=1:25



図名	平面図・断面図
事業名	防災基盤整備事業（消防施設）
位置	東伯郡三朝町大字吉田
工事名	桜ヶ丘区防火水槽新設工事
縮尺	図示
図面番号	全 2 葉中其の 1
責任者	建設水道課長 松村倫明
令和 7 年度	三 朝 町

耐震性貯水槽 T40-II-B-0.1/1.0



止水仕様(防水工)材料表

種別	算式	数量
コーティング材	$(3.10+2 \times 1.98+4\sqrt{2} \times 0.20) \times (4.50+2 \times 0.20) + (3.50 \times 2.38-4 \times 0.20^2/2) \times 2 + 0.60 \times \pi \times 0.52 \times 1 + (3.10+2 \times 1.98+4\sqrt{2} \times 0.20) \times 4 \times (0.0454-0.015) + 0.60 \times \pi \times 1 \times (0.0454-0.015)$	58.7 m ²
コーキング材 1	$(2 \times 3.10+2 \times 1.98+4\sqrt{2} \times 0.20) \times 4+0.64 \times \pi \times 1$	47.2 m
中間ボックス、端面部材	$(2 \times 3.30+2 \times 2.10+2 \times \pi \times 0.2) \times 4$	48.2 m
シール材	$(4 \times 0.84+0.2) \times 1$	3.6 m
集水ビット部材	$(2 \times \pi \times 0.34+0.2) \times 1 \times 1$	2.3 m
調整用部材		
コーキング材 1	$0.04/3 \times (\pi \times 0.07^2/4 + \pi \times 0.06^2/4 + \sqrt{\pi \times 0.07^2/4 \times \pi \times 0.06^2/4}) \times 4$	0.001 m ³
集水ビット連結部材		
パッキン材	—	4 ケ

基礎数量表

種別	算式	数量	備考
基礎コンクリート	$(5.60 \times 4.20 + (1.24+1.14+2 \times 0.15) \times 0.52 \times 2) \times 0.15$	3.946 m ³	$\sigma_{ck}=18.0$ N/mm ²
基礎型枠	$2 \times (5.60+4.20) \times 0.15 + (4 \times (1.24+1.14)+8 \times 0.15) \times 0.52$	8.514 m ²	
基礎砕石	5.60×4.20	23.520 m ²	t=0.20m
敷モルタル	$(5.30 \times 3.90-1.24 \times 1.14) \times 0.02$	0.385 m ³	

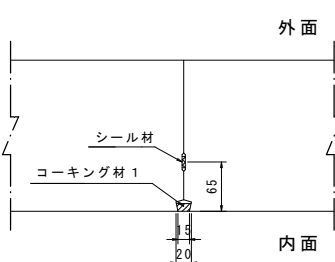
耐震性貯水槽明細書

型式番号	耐-00005-1号		
型式記号	T40-II-B-0.1/1.0		
容量	40.31 m ³		
設計荷重	T-20		
設置場所	II型		
土被り厚	0.100 m		
形状	横置ボックスカルバート型		
材料	規格または算式	数量	備考
中間ボックスA部材	3.9 m x 2.8 m x 1.5 m	2 個	
中間ボックスB部材	3.9 m x 2.8 m x 1.5 m	1 個	
端面部材	3.9 m x 2.8 m x 0.4 m	2 個	
集水ビット部材	PH500 (1.04 m x 1.04 m x 0.50 m)	1 個	
PC鋼より線	φ15.2mm, L= 5.9m	4 本	SWPR7B
定着具	アンカープレート, グリップ	8 組	端面部材用
グラウト	$0.12/3 \times \pi \times (0.08^2 \times 2 + 0.08 \times 0.07 + 0.07^2) \times 8 + 0.02 \times \pi \times 0.08^2 \times 8 + 5.020 \times \pi / 4 \times 0.035^2 \times 4$	0.040 m ³	$\sigma_{ck}=30$ N/mm ²
緊結ボルト	M16, L=0.100m (ナット, 座金付)	3 組	
人孔鉄蓋	φ600	1 組	
六角ボルト	M20, L=220mm (ワッシャー付)	4 組	
GキャップE	-	8 組	

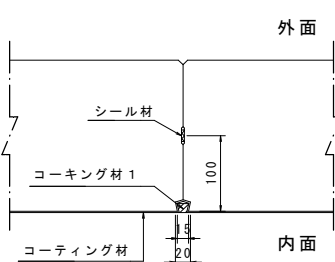
※内面防水は、コーティング仕様とする。
※日本消防設備安全センターの認定品である。

継手部詳細図 S=1:5

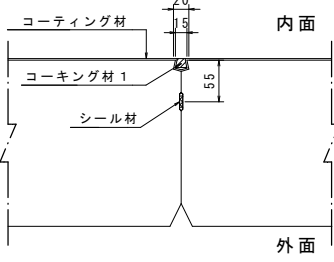
頂版



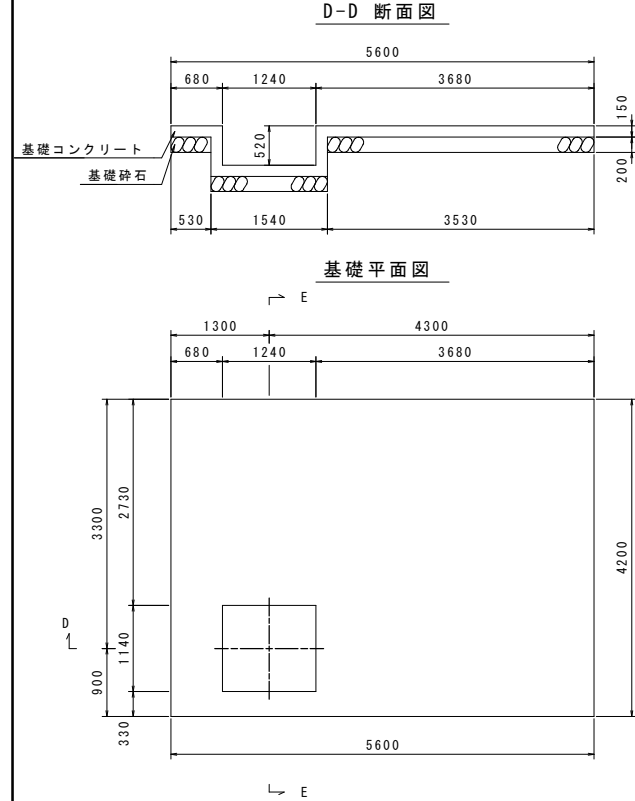
側壁



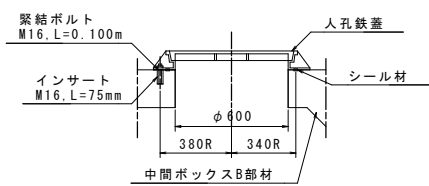
底板



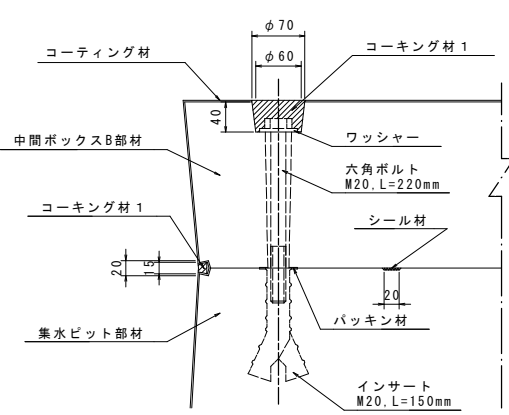
基礎図 S=1:50



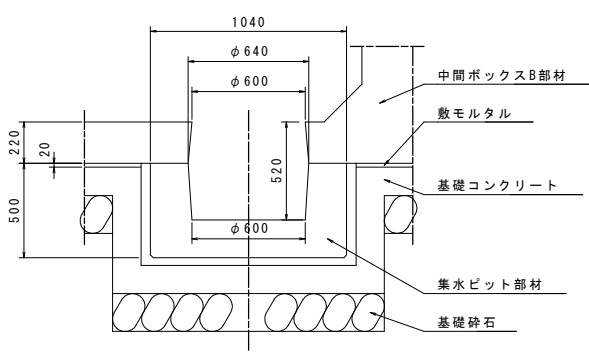
B部詳細図 S=1:20



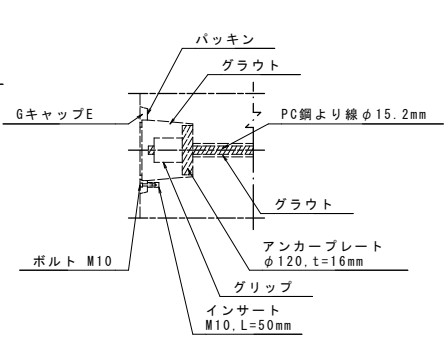
集水ビット連結部詳細図 S=1:5



C部詳細図 S=1:20



PC鋼より線定着部詳細図 S=1:10



図名	構造図		
事業名	防災基盤整備事業 (消防施設)		
位置	東伯郡三朝町大字吉田		
工事名	桜ヶ丘区防火水槽新設工事		
縮尺	図示	単位	M・mm
図面番号	全 2 葉中其の 2		
責任者	建設水道課長 松村倫明		
令和 7 年度	三 朝 町		